

暖冬の影響か？今年のスギ花粉の飛散は例年より早そうです。

①今年のスギ花粉症

今年は、暖冬の影響か1月中旬頃には敏感な人が花粉症の症状を感じて受診されています。全体的に例年より早く発症している人が多い印象です。少しでも症状を感じたら今年は



早めに薬を内服しはじめた方がいいかもしれません。また妊娠中など薬の内服が出来ない方も早めから点鼻薬を使用することで症状の発現を最小限に抑えられるかもしれません。詳しくは医師にご相談ください。

②今年のスギ花粉予測最新情報

日本気象協会が、平成31年1月17日に発表したスギ花粉飛散予測第3報です。スギ花粉のピークは、名古屋では3月上旬から中旬でしょう。東京のピークは3月上旬から4月上旬となり、多く飛ぶ期間が長いでしょう。スギ花粉のピークが終わる頃になると、ヒノキ花粉が飛び始め、その後ピークが始まります。高松・名古屋・東京では4月上旬から中旬でしょう。スギ・ヒノキ花粉の飛散量がピークになる時期は、花粉シーズン中の気温や予想される総飛散量

と関係があると考えられます。2月、3月の気温は北日本では、ほぼ平年並み、東日本では平年並みか高く、西日本では高い予想です。スギ・ヒノキ花粉それぞれのピーク時期は、例年並みか少し早まる見込みです。前シーズンの花粉の飛散量は、全国的に例年よりも多くなりました。前シーズンの特徴として、ヒノキ花粉の飛散量が多い傾向があり、東京ではヒノキ花粉が過去10年で最も多く飛散するシーズンとなりました（例年比約4.9倍、2017年シーズン比約4倍の飛散量、日本気象協会の観測地点 調べ）。今シーズンの予測に向けて花芽調査を行ったところ、ヒノキの花芽の生育が前シーズンほどではないことが分かりました。このため、今年のスギ花粉の飛散量は前シーズンより少ないと予測します。スギ花粉は、飛散開始と認められる前から、わずかな量が飛び始めます。2月中旬に飛散開始が予測される地域では、1月のうちから花粉対策を始めるとよいでしょう。ウェザーニュースの記事を見ると今年は3人に一人がもう1月の時点で花粉症の症状を感じているようです。花粉症は早めの対策がとても重要です。少しでも症状を感じたら早めの受診をお奨めします。

年末に仕事で使用していたiMacを新しくしました。耐用年数を超えてアップルのサポートも終了していたためです。すると周辺機器も耐用年数を超えていたことが判明し今新しくシステムを構築中です。自分の耐用年数のことも気になり、今年こそトレーニングに励もうと心に誓いました。



院長

節分の日には毎年恵方巻を食べると思いますが、最近は色々な具の種類があって去年は五種類くらい、合計7~8本購入しました。海鮮巻きはもちろん美味しかったですが、クリームチーズの恵方巻も変わっていて美味しかったです。今年はどんな種類を買おうかとワクワクしています。



看護師 山田



耳鼻咽喉科まつだクリニック

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日	診療科目
9:00~12:00	○	○	○	×	○	◎	×	耳鼻咽喉科 アレルギー科
3:30~6:30	○	○	○	×	○	×	×	気管食道科

◎ 9:00~13:00 休診日 木、日曜日、祝日

篠木町6丁目2426番地（篠木6丁目バス停前）
 ☎ 0568-86-4133 予約 0568-86-4890
 ホームページ：http://www.matsuda-cl.com